平成27年度　目標管理シート （課別組織目標）

課かい名	市立病院　事務部	課かい長名	田中　智樹

組織目標	事務部は市立病院の運営理念にのっとり、医療スタッフを支えると共に、安定した病院運営を行う役割を担うため、次の３点を目標に掲げ取り組むこととします。 ・　事務職員としての専門性を高め、組織力を強化します。 ・　収入の確保、費用の縮減による安定的な健全経営を推進します。 ・　診療環境を整備し、質の高い医療の提供と患者サービスの充実に努めます。

課重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等				変更内容	中間レビュー （10月1日時点）		目標の達成状況（3月末時点見込）		次年度に向けて（引継ぎ事項）	
	課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等		・上半期（４月～９月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（１０月～３月）に向けた課題等	中間進捗度	・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果(達成できなかった事由、理由等)	達成度	①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
市立病院事務部①	**事務部の組織強化と人材育成** 市立病院④	①具体的目標	事務職員のマネジメント能力を、医療現場から頼りにさる人材とするために、個人の能力アップと組織力の強化を図る。	○期間：年間を通して ・外部機関研修 自治体病院協議会等において開催される専門知識を高める研修に参加させ、専門性の向上と人的交流の拡大を図ることでその領域におけるスペシャリストを育成する。 ・診療部（医局）との連携強化 医師事務作業の補助的役割を担うことで、頼りがいのある事務職を目指す。 ・各種研修会への参加 関係機関が行う多職種による連携研修会に積極的に参加することで、職員の能力開発、スキルアップを図る。 ○期間：年度末まで ・課内部の担務再編 事務部内の職員配置の見直しと業務分担の見直しを行うことで、異動時における業務処理能力の低下を防ぐ。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	病院経営の中核となる事務職員は市長部局からのローテーションのため、これまでの業務遂行の中で蓄積した病院固有の知識やスキルが定期的な人事異動により活かされなくなる。							②課題・特記事項等	
市立病院事務部②	**各種健診等の受診者増に向けた取り組み強化** 市立病院⑤	①具体的目標	交通条件の不便さや施設設備の古さから、各種健診やドック受診者数が低迷している。受診しやすい環境を作り、受け入れ可能な範囲でより多くの受診者を確保する。 ○目標：健康診断　３８０名 人間ドック　３０名	○年間を通して ・広報活動を拡大する。 過去受診の利用者へ案内状を送付する。 ・各企業へ健診やドックの案内通知を発送する。 ・ＦＭやつしろの活用を検討する。 医療のことや市民の健康に役立つ話を伝えることで、市立病院の存在をアピールする。 ・ホームページ上でＰＲを行う。 病院ホームページ内に利用者の声を掲載することで受診しやすさをアピールする。 ・病院広報誌で紹介する。 ・週末ドックの検討を行う。 受診者の利便性の向上を図るため、土・日を利用した週末ドックの実施を検討する。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	休日等の時間外における診療については、関係条例等の整備が必要となる。							②課題・特記事項等	

重点事業番号	課重点事業 関連重点施策番号・支所重点事業番号	今年度取り組む重点施策とその具体的目標等 ①具体的目標（当該年度で、何を（どのような現状を）どのような状態にするのか） ②課題、特記事項等		具体的目標を達成するための具体的な方法、手段、スケジュール等	変更内容	中間レビュー （10月1日時点） ・上半期（４月～９月）における進捗状況（活動実績等） ・下半期（１０月～３月）に向けた課題等	中間進捗度	目標の達成状況（3月末時点見込） ・目標達成のために行った取組（活動実績等） ・その取組による効果（達成できなかった事由、理由等）	達成度	次年度に向けて（引継ぎ事項） ①具体的目標（次年度において、どのような現状をどのような状態にしたいのか） ②課題、特記事項等	
市立病院事務部③	**健全経営の推進** 市立病院⑤	①具体的目標	これまで以上に健全経営を続けるため、医師、看護師等の確保を行い、より質の高いサービスを提供することで収入の増加を目指す。同時に病院運営に係る経費を節減し歳出の抑制を図る。 〇目標：経常黒字3,000万円以上	〇年間を通して ・医師、看護師の確保 医師の確保については、引き続き県のドクターバンクをはじめ、民間の斡旋業者を通じて募集を行う。また、熊大医学部への医師派遣依頼も継続して実施する。 看護師の確保については、定年退職者の補充採用を確実に行うとともに、入浴や食事介助など患者サービスの向上を目的とし、、また今後の看護基準の見直しにも対応できよう募集活動を展開する。 ・長期入院患者数の抑制 開業医や介護福祉施設をはじめとする地域連携を強化することにより、入院患者の平均在院日数を短縮し、新規入院患者や待機患者の受け入れを促進する。 ・経費の削減 医療器機保守や施設管理に係る委託料の見直し、光熱水費の抑制、医療器機更新等における機種選定等により経費全体のマイナス３％を目指す。						①具体的目標	
		②課題、特記事項等	病棟の年間病床利用率が90%近くまで上昇しており、これ以上のアップは望めない。更なる収益を伸ばすためには、質の高い患者サービスを行うなど入院単価を上げる取り組みが必要である。							②課題・特記事項等	